

01 利用開始方法



① キー取り出し

グローブボックス内に車両のリモコンキーが入っています。「返却」から「貸出」の位置にキーを回し装置から抜き、リモコンキーを取り出してください。



② 充電コネクタを外す

黒い充電器【パナソニック製】

- ① 充電コネクタ本体のスイッチを押しながら、引き抜きます。
- ② 充電ポートのキャップを占めたことを確認し、充電ポートリッド(充電フタ)を確実に閉めます。



白い充電器【ニチコン製】

- ① 充電パネルの「コネクタロック」スイッチを押し、ロックを解除してください。
(LEDが点滅後消灯します)
- ② コネクタ本体のスイッチを押しながら引き抜きます。
- ③ 充電ポートのキャップを閉めたことを確認し、充電ポートリッド(充電フタ)を確実に閉めます。

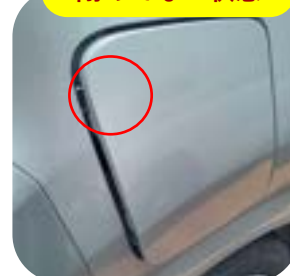


充電ポートリッド(充電フタ)

閉めた状態



閉めてない状態



③ 充電コネクタを戻す

充電コネクタを充電スタンドに戻します。

ケーブルは地面につかないようにスタンド下部のフックに巻きつけてください。



白い充電器(ニチコン)

黒い充電器(パナソニック)

④ EVシステム（エンジンの始動）

- ① ブレーキペダルを踏みこみながら
パワースイッチ（電源）を押すと
EVシステム(エンジン)が 始動します。

メーター内に「」が点灯して
いることを確認します。



パワースイッチ

- ② ブレーキペダルを右足でしっかり踏み込
んだまま、シフトレバーを車両後方に2段
階スライドさせ、シフトポジション
を「D」に切り替えます。



- ③ ブレーキペダルを緩め、アクセルペダル
を踏むと発信します。

<パーキングブレーキ操作方法>
発進時：Dレンジに入れてアクセルを
踏むと自動解除されます
停車時：ハンドル左奥にある
ボタンを引いてください。



パーキングブレーキ

※イノベティブペダルオペレーション
モードONとOFF時では走行特性
が大きく異なります。
EVシステム(エンジン)を起動後は、イノ
ベティブペダルオペレーションモード
のON/OFF状態をご確認ください。

メーター内

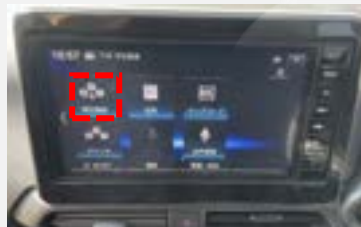


02 充電スポットの探し方

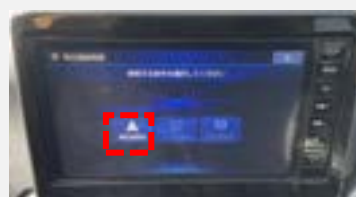


① 充電スポット検索方法

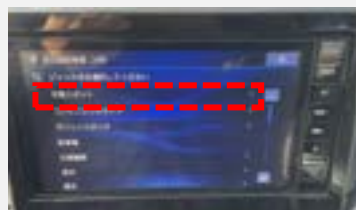
ナビ画面より「周辺施設」を選択します。



② 「現在地周辺」を選択する。 「EV充電スポット」を選択します。



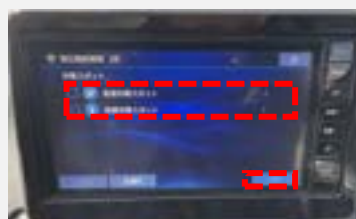
③ 画面より「充電スポット」を選択する。



④ 画面より

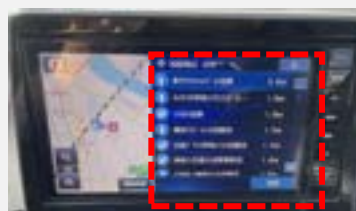
- ・ 急速充電スポット
- ・ 普通充電スポット

にチェックを入れ、画面右下「検索」を押す。



⑤

車両の現在地周辺の充電スポット候補地が表示されるので、任意のスポットを選択し、目的地に設定する。



03 充電スタンド（普通・急速）の使い方



① パワースイッチがOFFになっていることを確認してください。

② 降車し、充電ポートリッド（充電フタ）の左側を奥に押し充電ポートのキャップを開けます。普通充電は上のポート（小）、急速充電は下のポート（大）です。



充電ポート



③ 充電コネクタをカチッと音がするまで確実に差し込みます。正常に接続されるとブザーが1回なります。（車両の状態によりブザーが鳴らない時がありますが、異常ではありません）



④ 正常に充電が開始されると確認音が2回なります。

⑤ 〈普通充電の場合〉

終了する際は充電コネクタのスイッチを押しながら充電コネクタを引き抜きます。充電中に充電コネクタを引き抜いた場合は充電が自動で中断されます。

〈急速充電の場合〉

終了する際はまず充電器本体を操作して充電を停止してください。停止後、充電コネクタのスイッチを押しながら充電コネクタを引き抜きます。充電コネクタがロックされている場合は充電器の指示に従ってロックを解除してください。



⑥ 充電ポートのキャップを閉め、充電ポートリッド（充電フタ）を確実に閉めてください。

※充電中にエアコン等を使用すると充電時間が通常より遅くなります。
※急速充電にかかる時間は外気温などの影響で変化します。



04 返却方法



① 充電

車両に充電コネクタを繋いでください。具体的な手順は「充電スタンドの使い方」を参照してください。充電コネクタは借りた時と同じ個所に挿してください。



コネクタをつないだ後、
コネクタロックスイッチを押す

② 施錠

車両を施錠する前に次の点をご確認ください。

- ☒ ルームランプ・ライトの消し忘れ
- ☒ ドアミラーの格納
- ☒ 窓の閉め忘れ
- ☒ 忘れ物(ETCカードやカードホルダーに収納したご自身の各種カード類)
- ☒ 簡易清掃、ゴミの持ち帰り

グローブボックス内のキーボックス挿入口にキーを挿入し、「貸出」から「返却」の位置へスイッチを回してください。
車外に出てアプリより返却を完了してください。



※アプリより返却ができない場合、以下をお試しください。
黒い充電器：充電コネクタの抜き差し
白い充電器：コネクタロックスイッチを押す

※スタンドサインについて
乗車前は①のようになっておりますので、スタンドサインを移動させ、車を出庫してください。
出庫後は②のように駐車スペース中央に置いてください。返却時は①の状態に戻してください。



①乗車前/後



②乗車中

05 ekクロスの基本操作



① 運転席基本操作



A：ETCカード挿入口

B：ステアリングスイッチ(左側)

メーターのメニュー選択やナビゲーション操作が可能です

C：ステアリングスイッチ(右側)

ハンズフリー通話の操作が可能です。

※グレードやオプションにより運転支援システムの操作が可能です。(操作方法は「06 ekクロス特有機能」へ)

D：シフトレバー

E：パワースイッチ

F：ハザードランプスイッチ

G：ナビゲーション

H：パーキングブレーキ

I：イノペーティブペダルオペレーションモードスイッチ

② シフトレバー操作

P(パーキング)スイッチ：

パーキング機能のON/OFFを切り替えます。
発進、駐車時にブレーキペダルをしっかりと踏み込んだ状態で押してください。

R(リバース)：

ブレーキペダルをしっかりと踏み込んだ状態でシフトレバー横の**スイッチ**を押しながら操作してください。

N(ニュートラル)：

動力が伝わらない状態です。

D(ドライブ)：

通常走行するときに使用してください。

B(ブレーキレンジ)：

下り坂などで、強い回生ブレーキが必要なときにご利用ください。

(満充電時や低温時などはブレーキが弱くなる場合があります。)



③ ランプスイッチ操作

ランプの設定はスイッチを回して操作してください。



〈各種スイッチの説明〉

 / OFF

 / OFF の位置にしても手を離すと自動でAUTOの位置に戻ります。

- 停車時にスイッチの位置を  / OFF に回すと車幅灯、尾灯、番号灯のみが点灯します。
- 停車時にの位置に回して1.5秒以上保持すると、全ランプが消灯します。
- 走行を開始すると周囲の明るさに応じて、ランプが自動点灯・消灯します。

AUTO

ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯、アクセントランプが自動点灯・消灯します。

通常時はこのスイッチ位置で問題ありません。



ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。

06 ekクロス特有機能

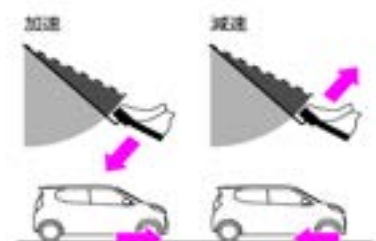


イノベティブペダルオペレーションモード

①イノベティブペダルオペレーションモードについて

- ・アクセルペダルの操作によって加速・減速の度合いを調整できます。
- ・アクセルペダルを離すと、モードがOFFのときよりも回生ブレーキの効きが強く減速します。

※機能には限界があるため、過信せずに安全運転を心掛けてください。
 ※イノベティブペダルオペレーションモードシステムについての
 詳細情報は三菱自動車ekクロス取扱説明書を ご参照ください。



②イノベティブペダルオペレーションモードシステムON/OFF

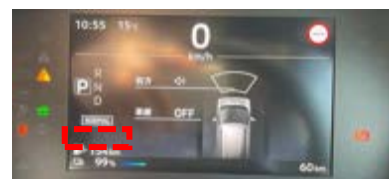
シフトレバー横のスイッチからON/OFFを切り替えます。

イノベティブペダルオペレーションモードON/OFFスイッチ



③イノベティブペダルオペレーションモードシステムON/OFF確認

メーターよりシステムのON/OFF状態を確認できます。



リモコンキー

- ・サービス利用中に車外へ出る際は、リモコンキーを携帯してください。
- ・サービス利用中の車両の解錠はリモコンキーを使用してください



ドア施錠スイッチ

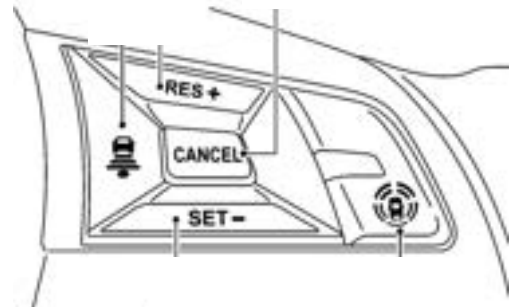
ドア解錠スイッチ

運転支援システム

① 運転支援システム搭載車について

ハンドルスイッチ右側が⇒右図のような車両は運転支援システムをご利用いただけます。
使用できる機能は以下です。

- ・マイパイロットシステム



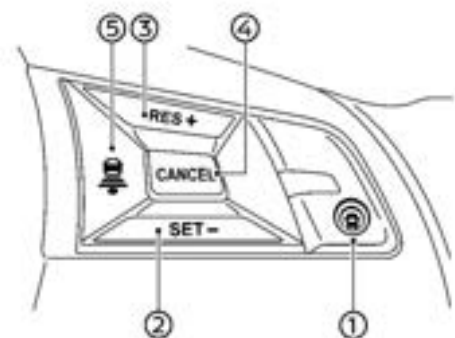
② マイパイロットシステム

運転者が設定した車速を上限に先行車と車速に応じた車間距離を保ちながら、車線中央付近を走行するための運転操作を支援します。



③ 各スイッチ説明

- ①マイパイロットスイッチ
 - ・マイパイロットのON・OFFができます。
- ②SET-スイッチ
 - ・SET-スイッチを押したときの車速でマイパイロットを開始できます。
 - ・設定速度を下げることができます。
- ③RES+スイッチ
 - ・マイパイロットを解除後、解除前の設定速度で再び開始することができます。
 - ・設定速度を上げることができます。
- ④CANCELスイッチ
 - ・マイパイロットの解除ができます。
- ⑤車間設定スイッチ
 - ・車間設定を「長」「中」「短」の3段階に切り替えることができます。





運転支援システム

④ 注意点

ご利用の際は以下注意点をご確認ください。

●高速道路や自動車専用道路で使用する

マイパイロットは、高速道路や自動車専用道路の直線や緩やかなカーブでの使用を想定して設計されています。一般道での使用は思わぬ事故につながるおそれがありますので使用しないでください。

●マイパイロットの性能には限界があるため、 システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がける。

自車の前への急な割り込みや先行車が急ブレーキをかけたとき、急なカーブを走行するとき、悪天候などでは、適切な減速や操舵制御が行えず先行車に接近したり、レーンマーカに近づくことがあります。先行車との車間距離、自車の車線内の位置、周囲の状況に応じて自らアクセル、ブレーキ、ハンドルを操作し、常に安全運転を心がけてください。

レーンマーカとは、走行車線の右側もしくは、左側に引かれた線のことを示します。

●手放し運転を行うことはできない。

運転者は必ずハンドルを持ち、安全運転を心がけてください。

●停止中の車両には反応しない。

料金所や渋滞の最後尾で停止中の車両に対しては減速しません。十分注意してください。



07 警告灯・表示灯の種類

警告灯	名 称	灯・点滅する条件	説明・対処方法
	EVシステム警告灯	・パワースイッチをONにする と点灯し、数秒後に消灯します。 ・パワースイッチがONのとき、 モーターや高電圧システムなど に異常が発生すると点灯します。	・点灯したときは、すみやかに安全な場 所に停車し、三菱販売会社に連絡してく ださい。
	12V系充電警告灯	・パワースイッチをONにする と点灯し、数秒後に消灯します。 ・メーター内の走行可能表示 灯 が点灯している とき、12Vバッテリーの充電系 統に異常があると点灯します。	・点灯したときは、すみやかに安全な場 所に停車し、三菱販売会社に連絡してく ださい。 12V系充電警告灯が点灯したまま走行しない。 車両が突然停止するなど思わぬ事故につ ながるおそれがあります。
	ABS警告灯	・パワースイッチをONにする と点灯し、数秒後に消灯します。 ・パワースイッチがONのとき、 ABSのシステムに異常があると 点灯します。	・パワースイッチをONにしても点灯し ないとき、または点灯し続けるときは、 高速走行や急ブレーキを避け、すみやか に安全な場所に点検を受けてください。 ・ABS警告灯が点灯したときは、ABSは 作動しませんが、通常のブレーキ性能は 確保されています。この場合、滑りやす い路面でのブレーキ時や急ブレーキ時に タイヤがロックすることがあります。
	電動パーキング ブレーキ警告灯	・正常なときは、パワース イッチがONのとき、電動パー キングブレーキがかかっている と点灯し、電動パーキング ブレーキを解除すると消灯し ます。 ・パワースイッチがONのとき 電動パーキングブレーキのシ ステムに異常があると点滅し ます。	・パワースイッチがONで警告灯が点滅 しているときは、電動パーキングブレ ーキを解除しても点滅が続くときは、すみ やかに車両を安全な場所に停車し、三 菱販売会社に連絡してください。
	ブレーキ警告灯 (赤色)	・正常なときは、パワース イッチをONにするとき点灯し、 数秒後に消灯します。 ・パワースイッチがONのとき、 次の場合は点灯し続けます。 ○ブレーキ液が不足している とき ○ブレーキシステムに異常が あるとき	・走行中にブレーキ警告灯 (赤色) が点 灯した場合は、車両を停止し、以下の確 認を行ってください。(ブレーキシステ ム (黄色) と同時にASC警告灯 も点灯します。) 三菱販売会社で点検を受けてください。 ○ブレーキ液の量が規定通りに入ってい ることを確認してください。ブレーキ液 が不足している場合は、ブレーキ液を補 充し三菱販売会社で点検を受けてくださ い。 ○ブレーキ液の量が適正のときは、他に 原因があることが考えられますので、三 菱販売会社で点検を受けてください。 ・ブレーキシステムの電源系統に異常が あるときは、ブザーが鳴ります。
	ブレーキシステ ム警告灯 (黄色)	・正常なときは、パワース イッチをONにするとき点灯し、 数秒後に消灯します。 ・パワースイッチがONのとき、 次の機能に異常があると点灯 します。 ○ブレーキシステム ○回生ブレーキ ○ヒルスタートアシスト ○電動パーキングブレーキ	・パーキングブレーキを解除し、ブレー キ液量が正常でブレーキ警告灯 (赤色) と同時に点灯したときは、ただちに安全 な場所に停車して、三菱販売会社に連絡 してください。このときは、ブレーキの 効きが極度に悪くなっているおそれがあり ます。ブレーキの効きが悪いときは、 ブレーキペダルを強く踏んで停車してく ださい。 ・ブレーキ警告灯 (赤色) と同時に点灯 していないときは、すみやかに三菱販売 会社で点検を受けてください。 ・ブレーキシステムの電源系統に異常が あるときは、ブザーが鳴ります。 ・ブレーキシステム警告灯 (黄色) が点 灯しているときは、回生ブレーキが作動 しませんが、通常のブレーキ性能は確保 されています。
	シートベルト警 告灯	・パワースイッチがONのとき、 運転席および助手席の乗員が シートベルトを着用していない と点灯します。 ・後席のシートベルト警告灯 は、パワースイッチをONにした とき、後席の乗員がシート ベルトを着用していないと一 定時間点灯します。 ・運転席および助手席の乗員 がシートベルトを着用してい ない状態で一定以上の車速で 走行すると、警告灯が点滅し ます。 ・一定以上の車速で走行中、 後席の乗員が着用している シートベルトを外すと、後席の 警告灯が点灯または点滅しま す。 ○前席シートベルト非着用時 警告音 (シートベルトリマ イダー) ・運転席および助手席の乗員 がシートベルトを着用してい ない状態で車速が一定以上に なると、ブザーが一定時間鳴 ります。 ○後席シートベルト非着用時 警告音 (シートベルトリマ イダー) ・一定以上の車速で走行中、 後席の乗員が着用している シートベルトを外すと、ブ ザーが一定時間鳴ります。	・助手席シート、後席シートに荷物など を置く、センサーが重量を検知して、 警告灯が点灯することがあります。 ・後席のシートベルト警告灯は、マップ ランプ周辺にあります。 ・後席のシートベルト警告灯は、パワ ースイッチをONにしたとき、後席に乗員 がいなくても一定時間点灯する場合があ ります。 ・後席乗員検知付車は、後席の乗員が シートベルトを着用していない状態で一 定以上の車速で走行すると、後席の警告 灯が点滅し、一定時間ブザーが鳴ります。 走行中は全員がシートベルトを着用する。 着用しない、万一の事故時や急ブレ ーキ時に、死亡や重大な傷害につながるお それがあります。
	SRSエアバッグ警告灯	・パワースイッチをONにする と点灯し、約7秒後に消灯します。 ・パワースイッチがONのとき、 SRSエアバッグのシステム、プ リテンショナー機能に異常があると、 点灯を続けます。	・パワースイッチをONにしても点灯し ないとき、または点灯を続けるときは、 放置したまま走行しない。 万一のときSRSエアバッグ、プリテン ションシートベルトが作動せず、重大 な傷害につながるおそれがあります。

警告灯	名 称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	ASC警告灯	・パワースイッチをONにする と点灯し、数秒後に消灯しま す。 ・パワースイッチがONのとき、 ASCが作動すると点滅しま す。 ・パワースイッチがONのとき、 ASCシステムに異常があると 点灯します。	・点灯したときはASCの作動は停止しま すが、ASCシステムのない普通の車とし て走行できます。滑りやすい路面では注 意して走行し、すみやかに三菱販売会社 で点検を受けてください。 ASC (ピークルダイナミクスコントロー ル)
	電動パワーステ アリング警告灯	・パワースイッチをONにする と点灯し、メーター内の走行 可能表示灯 が点灯 すると消灯します。 ・パワースイッチがONのとき、 電動パワーステアリングのシ ステムに異常があると点灯し ます。	・すみやかに三菱販売会社で点検を受け てください。 ・点灯しているときは、電動パワーステ アリングが作動しないことがあり、その 場合はハンドル操作が重くなります。ハ ンドルをしっかりと握り、通常より強く 握ってください。 ・ハンドルに長時間力をかけた状態が続 いたり停車中に操作を繰り返すと、シス テムの過熱を防ぐため出力が制限され、 重くなりますが、異常ではありません。 しばらくハンドル操作を控え、システ ムの温度が下がると、通常のハンドル操 作に戻ります。 ・すばやいハンドル操作を行うと、ハ ンドル付近から振れるような音が聞こえ てくる場合がありますが、異常ではあり ません。
	駆動用バッテ リー残量警告灯	・パワースイッチがONのとき、 駆動用バッテリーの残量が低 下すると黄色く点灯します。	すみやかに最寄りの充電施設で充電し てください。
	パワーダウン警 告灯	・パワースイッチをONにする と点灯し、数秒後に消灯しま す。 ・メーター内の走行可能表示 灯 が点灯している とき、次の場合に点灯します。 ○駆動用バッテリーの残量が 極端に低下しているとき ○真冬の屋外などで、駆動用 バッテリーの温度が極端に低 いとき ○外気温が高いときや連続 で高速走行や登坂走行をしたこ とにより、走行モーターや駆 動用バッテリーなどの温度が 極端に上がったとき ○急速充電を繰り返し、 駆動用バッテリーの温度が極 端に高くなったとき ○車両故障が発生している とき	・点灯中は出力が制限され、アクセルペ ダルを踏み込んでも速度が上がらなくな ります。 ・アドバンスドライバアシストディ スプレイにメッセージが表示されたときは、 その指示に従ってください。 ・駆動用バッテリーの残量が極端に低下 したときは、すみやかに充電するか、充 電できる場所が近くにならないときは、 すみやかに安全な場所に停車し、EVカス タマー (0120-230-834) にご連 絡ください。 ・駆動用バッテリーの温度が上がって 点灯したときは、 (出力制限表示灯が点 灯したときは) をお読みください。
	電制シフト警告 灯	・パワースイッチがONのとき、 電制シフトに異常があると点 灯します。	・すみやかに三菱販売会社で点検を受け てください。 ・アドバンスドライバアシストディ スプレイにメッセージが表示されたときは、 表示されたメッセージに従ってください。
	衝突被害軽減ブ レーキシステム (FCM)/踏み間違 え衝突防止アシ スト警告灯	・パワースイッチをONにする と点灯し、メーター内の走行 可能表示灯 が点灯 すると消灯します。 ・次の場合は点灯します。 ○FCMをOFFにしているとき ○ASCをOFFにしているとき ○FCMまたはインテリジェ ントFCW (前方衝突予測警報) のシステムに異常が発生し ているとき ○フロントガラスの汚れなど により、マルチセンシングフ ロントカメラが前方を認識 できなくなったとき ○カメラが前方を認識できな くなったとき ○雨天時に駐車したときなど、 カメラが高湿になったとき ○フロントガラスの結露や 曇りなどにより、マルチセ ンシングフロントカメラが前 方を認識できなくなったとき ○周辺の電波の影響を受け ているとき ○センサーの汚れなどで、 FCMが一時的に作動できな い状態になっているとき	・FCMをOFFにしているときは、ONに すると消灯します。 ・ASCをOFFにしているときは、ONに すると消灯します。 ASCのON-OFFのしかた 一度パワースイッチをOFFにしてから 再始動しても警告灯が点灯し続けるとき は、システムの異常が考えられます。通 常走行には支障はありませんが、三菱 販売会社で点検を受けてください。 ・フロントガラスが汚れているときは、 フロントガラスを清掃し、警告灯が消 灯したことを確認してください。 ・室内の温度が高くなったときは、温度が 下がるまで自動的に作動を復帰します。 ・フロントガラスに結露や曇りなどがある 場合は結露や曇りを除去し、警告灯が 消灯したことを確認してください。 フロントガラスのくもりの取りかた 各システムについては、FCM(FCW)お よびおよびインテリジェントFCW (前 方衝突予測警報) (インテリジェント FCW (前方衝突予測警報))をお読みく ださい。
	マスターワー ニング (黄色)	・メーターに警告メッセ ージが表示されると同時に点灯し ます。	・同時に表示した警告メッセージを確認 し、それぞれの対処方法に従ってくださ い。 警告メッセージが表示されたときは
	マスターワー ニング (赤色)	・メーターに警告メッセ ージが表示されると同時に点灯しま す。	・同時に表示した警告メッセージを確認 し、それぞれの対処方法に従ってくださ い。 警告メッセージが表示されたときは
	車両接近通報シ ステム (AVAS) 警告 灯	・AVASに異常があると点灯します。	・すみやかに三菱自動車販売会社で点 検を受けてください。